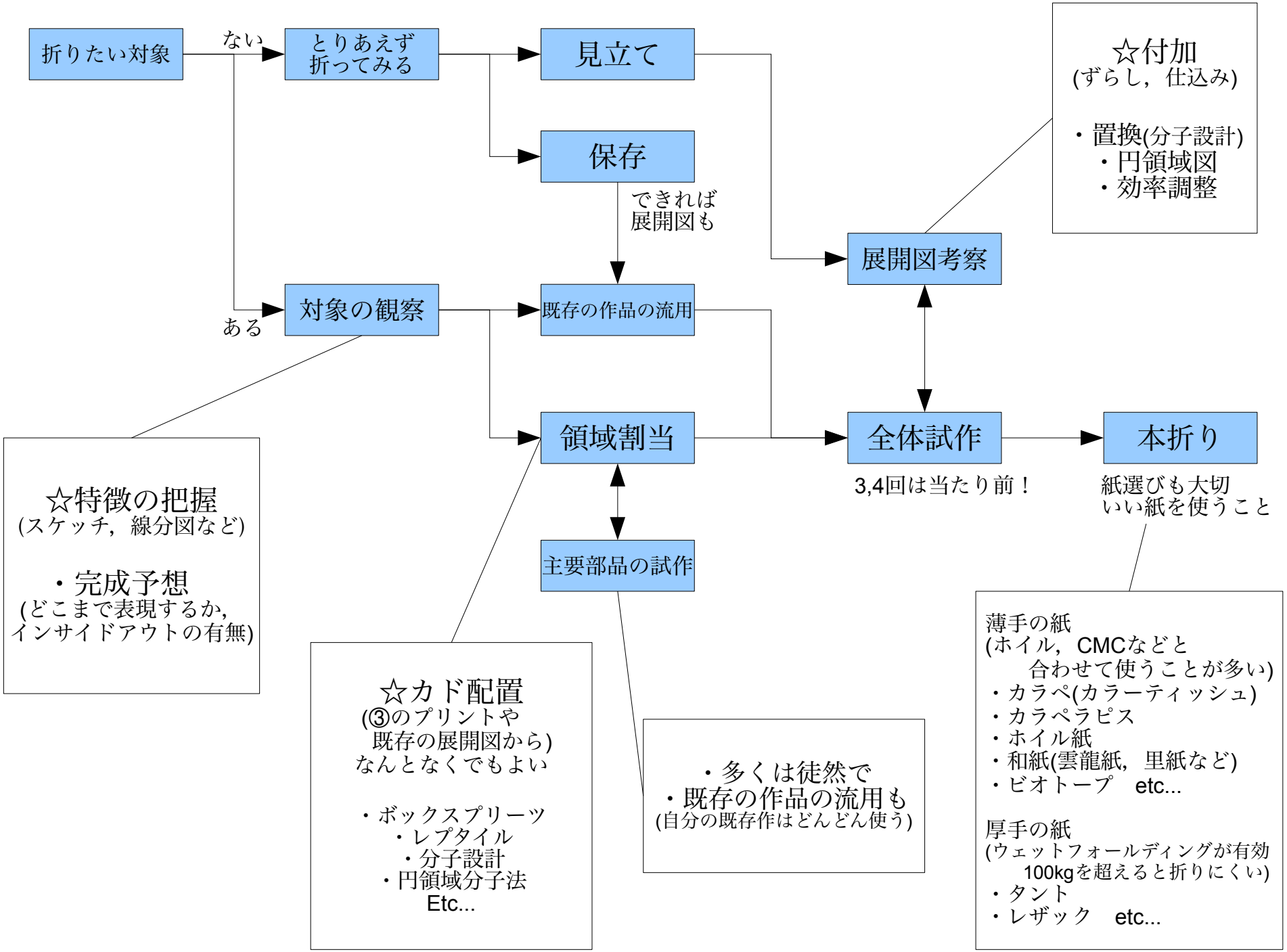
折りたい対象
ない
とりあえず
折ってみる
見立て
保存
できれば
展開図も
ある
対象の観察
既存の作品の流用
展開図考察
☆付加
(ずらし，仕込み)
・置換(分子設計)
・円領域図
・効率調整
領域割当
全体試作
3,4回は当たり前！
本折り
紙選びも大切
いい紙を使うこと
主要部品の試作
☆特徴の把握
(スケッチ，線分図など)
・完成予想
(どこまで表現するか，
インサイドアウトの有無)
☆カド配置
(③のプリントや
既存の展開図から)
なんとなくでもよい
・ボックスプリーツ
・レプタイル
・分子設計
・円領域分子法
Etc...
・多くは徒然で
・既存の作品の流用も
(自分の既存作はどんどん使う)
薄手の紙
(ホイル，CMCなどと
合わせて使うことが多い)
・カラペ(カラーティッシュ)
・カラペラピス
・ホイル紙
・和紙(雲龍紙，里紙など)
・ビオトープ　etc...
厚手の紙
(ウェットフォールディングが有効
100kgを超えると折りにくい)
・タント
・レザック　etc...